

2022事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

2022年2月

2022事業年度 事業計画書

I 基本方針

オミクロン株の感染拡大に伴い、まん延防止等重点措置の対象地域が、県内全域となりました。この第6波の襲来により、再び、多くのコンサート・事業が中止または延期に追い込まれることが危惧されます。「Withコロナ」を改めて認識させられる状況であり、また、それに向き合う覚悟も必要な状況です。

このような中、本財団は9年目を迎えます。ワクチン接種、新薬の開発等もありますが、新型コロナウイルスの終息はまだまだ見えません。しかしながら、私たちは、「Withコロナ」の中でも、出来る限り、市民に文化・芸術を届けなければなりません。こういう時だからこそ、文化・芸術が持つ「癒しの力」が、人々の心に必要なのです。

そのため、本財団は、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理者として、引き続き、市民の方々に文化・芸術の持つ「人間が人間らしく生きるための糧、生きる力、生きる喜び」という本来の価値をいかに享受していただくかを念頭におきながら、両会館の管理運営と文化事業を推進してまいる所存です。

このため、これまでの指定管理者としての実績と経験を踏まえ、新たな視点、利用者の視点に立ち、様々な取組を行っていけるよう、主として次のことを重点的に取り組んでいきます。

- 1 市策定の「第三次文化振興ビジョン」の施策と連動しながら、引き続き組織目標の設定や業務の計画・執行を図る。
- 2 両会館の歴史や特性を踏まえ、館内外を有効活用した事業や宣伝を実施するとともに、子ども達や若者が集える環境をつくり賑わいを創出していく。
また、記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上を図るシステムを今後も活用し、利用者の利便性をより高めていく。
加えて、コロナ禍における新しい文化の提供手段として、コンサートや展示会等の様子を映像配信することにより、積極的に伝えていく。
- 3 自主文化事業の実施については、2019年度から5年間の中期的実施テーマを「人と人 人と文化をつなぐ ～会館に集い・出逢いの場に～」と定めたことから、本テーマを基に、事業の選定と実施を行い、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の市民が、いつでもどこでも文化に触れる機会を創出する。
- 4 文化の持つ社会的な役割を再認識し、コロナ禍における社会課題や社会問題にもアプローチしていくことができるよう事業実施していく。
- 5 市民一人ひとりが「文化の鑑賞」「文化の活動」をしていくことができる“まち”、誰もが文化を楽しむことができる“まち”の実現を目指すための人材を育成していく。また、それぞれの実践的な活動を支援する。

II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

1 文化行事開催事業

*2022年度自主文化事業の実施テーマ「感動発信」

～観る・聴く・出逢う・育む～（記念会館開館85周年）を念頭に

(1) ステージ事業

●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	【目的】【効果】【公演ジャンル・本数】	会場	事業費
1	日程調整中	<p>【目的】 記念会館・文化会館それぞれのホールの特性を活かしたアーティストの公演を実施、文化・芸術にふれる機会の創出と、様々なジャンルの鑑賞機会を提供する。</p> <p>【効果】 昨今のコロナ禍における閉塞的かつ我慢を強いられる生活の中でも、ステージ公演を通じて、それぞれの経験価値が高まり、鑑賞者の生きる力、生活の活力、そして心の癒しとなる。</p> <p>【公演ジャンル・本数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆クラシック系・・・2本〔主催1〕 〔共催1〕 ◆演劇・ミュージカル系・・・1本〔主催1〕 ◆ポップス・ジャズ系・・・2本〔主催1〕 〔共催1〕 <p>【2022年度のサブテーマは「連携」と「活用」。県内財団・文化団体との「連携」と助成金の「活用」（資金調達）により事業実施を目指します】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「交響曲UBE」（2021年度は完成披露メモリアルコンサート）コンサート継続実施。 ◆県内財団との連携し「元気やまぐち創造プロジェクト『管弦楽アンサンブルと和太鼓のコラボレーション』（案）公演を文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業（助成金）」を活用して実施を目指す。 	記念会館 文化会館	6,050 — 5,000 5,000 — — —

●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	調整中	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	市内	256
2	調整中	「第九『歓喜の歌』2022 in 渡辺翁記念会館」 【継続事業】	山口県にゆかりのある出演者等により、渡辺翁記念会館 85 周年の一年を締めくくる。	記念会館	100
3	8月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	8月から12月までの期間を「宇部市『芸術祭』」とし、各種文化団体と協力し実施する。	文化会館 ほか	—

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	未定	展示事業 コラボレーション芸術祭 【継続事業】	50年以上続く芸術祭の展示事業と財団の企画する展示事業がコラボレーションすることにより、新たな発見と感動を生み出すとともに、芸術祭の新展開につなげる。	文化会館	100

●市受託事業【展示・文芸事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』」 【継続事業】	8月から12月までの期間を「宇部市『芸術祭』」とし、各種文化団体と協力し実施する。	文化会館 ほか	641

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」 事業支援 【継続事業】	市内で吹奏楽を行っている児童・生徒及び、宇部ジュニア・アンサンブルのメンバーたちの技術のレベルアップを図る事業。アーティスト・イン・レジデンス事業と連携して、指揮者による楽曲指導などを実施し、将来的に吹奏楽とアンサンブルとのコラボレーションを実施していく素地をつくり、育成を図る。	—	200
2	適宜	「記念会館活用 ・活性化PR事業」 【継続事業】	文化に触れる機会の少ない層への会館来場のきっかけづくりと、記念会館のロビーや特性をいかしながら事業を実施する。地元アーティストの活用や食等のイベントを交えることで、記念会館及び市の中心部の賑わいを創出する。 また、記念会館・文化会館の利用者を拡大していくため、新たな利用方法なども含め、PRや広報宣伝を継続的に実施する。 *2021年度開催状況 6/23(水)「スポーツうべたん 渡辺翁記念会館見学ツアー&伸び伸びストレッチ」 7/28(水)～30(金)「市バスミステリーツアー」 9/29(水)「記念会館見学ツアー& コミュニケーションワークショップ」 11/29(月)「スポーツうべたん宇部の歴史探訪！ 渡辺翁記念会館見学&松巖園ヨガ」 2022/2/26(土)27(日) 「渡辺翁記念会館の秘密～リアル謎解きゲーム～」	記念 会館	100

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金(予算の範囲内)の交付やチケット販売・広報の支援を行う。 次世代育成や社会的貢献性の高い事業を重視する。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション、市民参加のワークショップ実施から成果発表等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全な育成や文化活動団体の育成につながる。 【ターゲット】宇部市内の文化活動団体	300

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	【目的】【効果】【公演ジャンル・本数】	会場	事業費
1	日程調整中	<p>【目的】次代を担う世代に、良質な文化・芸術を鑑賞・体験する機会を提供することで、心豊かに健やかに育っていく環境整備を図る。また、より広い視野で世界の文化に触れることにより、鑑賞者一人ひとりの国際理解、多文化共生へとつながる。</p> <p>【効果】公演を鑑賞することで、文化・芸術がより身近なものとなり、また、鑑賞とワークショップを連動させた事業を実施することで、より文化に興味関心を持った鑑賞者の育成と、音楽文化の底辺の拡大を図ることとなる。また、他国の文化に触れることで、改めて自国の文化や地元宇部の素晴らしさに気づき、誇りをもつことにつながり、ひいては心豊かに生活できる町づくりにつながる。</p> <p>【ジャンル・本数】 *いずれも継続事業 〔次世代育成〕 質の高い文化芸術の鑑賞機会を子どもたちに・・・1本 〔多文化共生イベント実施事業〕・・・・・・・・・1本 〔古典芸能イベント実施事業〕 継続的な日本の大衆芸能・古典芸能事業の開催 〔「新川寄席」の開催など・・・・・・・・・1本 〔ワークショップ〕 コミュニケーション・ダンスに重点をおいたワークショップ・・・1本 音楽に重点をおいたワークショップ・・・・・・・・・1本</p>	記念会館 ・ 文化会館 ・ 市内	4,100 2,015 2,322 500 500
2	調整中	<p>【事業名】 フィジカルディスタンス「思いやりの時間～心はすぐそばに～」 (旧「心とアートのバリアフリー事業」) 【継続事業】</p> <p>【目的】 幼児から高齢者、障がいを抱える方、また外国の方など、誰もが楽しめる文化事業を実施する。会館への来場を待つだけではなく、様々な場所へ出向いて文化を届けるなど、市民のニーズを満たしていくとともに多文化共生を考えるきっかけづくりにつながる。</p> <p>【効果】文化事業等への参加を通じて、感動や出来る喜びを体験し、経験価値が高まることで、心豊かに生活できるまちづくりにつながる。 *2021度は「フィジカルディスタンス公演『思いやりの時間～心はすぐそばに～』 講談師神田京子独演会」を実施</p>	記念会館 ・ 文化会館 ・ 市内	150

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施 時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	9月 ～ 1月 (予定)	子ども文化夢教室 【継続事業】	各ジャンルの指導者による、学校でのアウトリーチ・ワークショップ型文化教室を開催。	各小学校	190
2	通年	アート・パフォーマー ・バンク管理運営 【継続事業】	市にゆかりのあるアートパフォーマーの人材情報を集積・管理し発信する制度＝アートパフォーマーバンクの運営を行い、人材の活動の場を支援する。 *FMきらら「アートな時間」 毎月第3火曜日アートパフォーマーバンク登録アーティストと財団職員が出演し、活動紹介等を行う。	—	198
3	通年	アートコミュニティ 構築促進事業 【継続事業】	市民が気楽に文化に触れられる機会を創出する人材を養成する講座の実施と、その活動を支援する。	集古館	(8,303)

②財団職員に対して

●【接遇の向上】

サービスの向上のためには、職員の接遇意識・技術の向上が今後も必要不可欠である。「おもてなし」の心での接遇を念頭におき、職員の接遇に対する利用者の声等には速やかに対応し、職員の意識改革を行っていく。

具体的な接遇の向上の方策としては、徹底的な研修の必要性があるため、公立文化施設向けのサービス対応研修を受講する等、より一層のサービスの向上を図る。

市民や会館利用者及び来場者等を気持ちよく迎え、笑顔で帰っていただくことを第一義に考える。また、合理的配慮を常に念頭におき、高齢者や子ども等に対しても細やかに配慮する。

●【人権研修・ハラスメント研修・メンタルヘルス研修の実施】

職員の人権意識等を高めるために専門講師を招聘して人権研修やメンタルヘルス研修を実施し、明るく働きやすい職場づくりを推進するとともに、利用者の立場に立った配慮ある対応へつなげていく。

また、内部研修や、職員ミーティングの拡充等を図り、組織全体の意思疎通や能力の向上を進めていく。

●【外部研修の活用】

全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する研修を活用し、育成を図る。コロナ禍においては、ホームページや ZOOM 等での講義動画を視聴するオンライン研修会等を積極的に活用する。

【具体的な研修事例】

- ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
 - ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
 - ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業
 - ◇地域創造 ステージラボ
- 等

●【職員の資質向上】

防犯・防火・地震対策、AED研修等の会館利用者に対する安全対策、障がい者対応、関係法令等の内部研修会や外部講師による非常時等の危機管理研修を実施する。また、両会館の舞台等技術職員には、新しい技術や知識を取得するなど、必要な研修会に積極的に参加できる体制をつくる。なお、取得した知識や技術を他の職員にも還元し、職員間の交流が活発になるようにする。

職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚をもちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において、業務に取り組んでいく。

3 意識啓発及び情報発信事業

(1) 意識啓発事業

- 文化活動団体や地元企業団体等の会合に積極的に参加し、財団のPRや友の会への勧誘、自主文化事業の宣伝を行い、財団の支援者や理解者を増やしていく。
- テレビやラジオなどのメディアに積極的に出演し、財団の取組や実施事業等を宣伝し、啓発の効果を高めていく。
 - * FMきららの番組活用
 - 「Culture creation ～かるくり～」毎月第1火曜日 財団職員出演
 - 「アートな時間」毎月第3火曜日アートパフォーマーバンク登録アーティストと財団職員出演
- 行政、文化団体、観光コンベンション協会等との連携を強化し利用促進を図る。
 - * 宇部観光コンベンションとの事業連携（渡辺翁記念会館見学パッキングツアー）
- 財団友の会
 - ・財団の重要な支援者である財団友の会。財団の活動を理解いただき、会員数の確実な増員を図るため、リピーターとして来場いただける魅力的な自主文化事業の企画立案に努める。財団友の会チケット先行予約、チケット価格設定等工夫を凝らしていく。
 - ・文化・芸術に対する最大の理解者であり、財団を支えてくださっている「お得意様」である。財団の重要な支援者である会員との関係性を深めていくことが重要であり、年間の会員の更新率を高めるため、サービスの向上を検討していく。
 - ・新規会員の入会を促すため、魅力的な事業を実施する。
- 財団市民サポーター
 - ・財団の重要な支援者である財団市民サポーター。参加者一人ひとりの役割や意義を浸透させ、市民の方々の関心を高め、賛同者や加入者を今後も増やしていく。
 - ・年度当初には、財団職員とサポーターとの意見交換の場や合同の研修会を行うとともに、表彰や特典付与制度など、活動に充実感や達成感を得られるようにすすめていく。
 - ・安全・安心に配慮しながらコロナ禍でも活動できる内容を模索する。
- 財団コミュニケーションサポーターズ Seeds of Joy
 - ・財団の実施した人材育成事業「アートマネージャー養成講座『コミュニケーションワークショップ（初級・中級・上級編）』」を修了した受講生所属している。「遊びを通して、五感を養い表現力を育む」「次代を担う子ども達の想像力を育む」「人にやさしい子ども達の育成を目指す」「人に言葉を渡せる子ども達を育む」「参加者の心が動き、自分で決め、自分で動くことができる」「『人間肯定』できる演劇活動をとおして『自己肯定感』を醸成する」「人と人がつながることにより、地域社会に貢献する」等を目的としたワークショップを実施しています。
 - * 2021年度は、市受託事業「子ども文化夢教室」の【文化／表現活動】「コミュニケーション・ワークショップ」の講師として、学校へ出向いて活動した。

(2021 事業年度…1 月末の現状、その他の各年度…3 月末日現在)

	財団友の会 会員数		財団市民サポーター 登録者数
	個人会員	法人会員	
2021 事業年度	4 1 6 人【目標数 4 7 0 人】	3 7 団体【目標数 4 8 団体】	5 8 人【目標数 6 9 人】
2020 事業年度	4 6 1 人【目標数 4 6 0 人】	4 0 団体【目標数 4 7 団体】	5 5 人【目標数 6 6 人】
2019 事業年度	4 5 6 人【目標数 4 5 0 人】	4 4 団体【目標数 4 6 団体】	5 3 人【目標数 6 3 人】
30 事業年度	5 0 7 人	3 3 団体	5 9 人
29 事業年度	4 2 8 人	4 4 団体	6 1 人
28 事業年度	4 0 2 人	4 6 団体	5 6 人
27 事業年度	3 2 3 人	2 5 団体	4 7 人
26 事業年度	1 6 7 人	1 4 団体	3 9 人
25 事業年度	6 1 人	6 団体	3 1 人

(2) 情報発信事業

●「メディアミックス」

新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・フェイスブック・インスタグラムなどの SNS を事業内容に応じて組み合わせ、効果的な情報発信を行っていく。

●情報誌「イベントガイド」

掲載内容やトップページに工夫を凝らし、市民の方々が興味を持ち、会館に足を運んでいただき公演の鑑賞者やイベントへの参加につながる誌面作りに努める。情報誌「イベントガイド」については点訳を行う等、どなたにも情報を届けられるよう「合理的配慮」を行っていく。

●「ホームページ」

障がいを持った方をはじめ、高齢者や子どもなど、誰でもわかりやすい表示に努め、財団自主文化事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供していく。

●その他

無料で掲載できる冊子やパブリシティ等を積極的に活用するとともに、他の組織の情報誌やホームページ等への掲載利用を行い、効果的な発信を行っていく。

4 調査研究及び資料収集事業

(1) 調査研究事業

- コロナ禍を勘案し、利用者からのアンケート収集にはQRコードを用い、その結果や他都市の財団や文化施設などからの情報をもとに、マーケティング分析等を行い、自主文化事業の選定や今後の財団運営方法を常に検討していく。
- ペアチケットやグループチケットの設定、障がい者や外国の言語等に配慮したチケット販売方法を研究するとともに、導入したチケット販売システムで〔いつでも〕〔どこでも〕インターネットを利用し、支払方法も現金だけでなく〔クレジットカード〕〔ORコード〕決済ができる等、利便性を周知し、より利用者の購買意欲向上につながる工夫をしていく。

(2) 資料収集事業

- 安定した事業経営や規模の大きい文化事業を実施している先駆的な他団体のノウハウ等を吸収するための資料収集を進めていく。
- 県内外の大手プロモーター等との日頃からのコンタクトや積極的な直接訪問により、信頼関係づくりの構築とともに、有益な情報収集を図る。
- 全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会をはじめ、助成金支援を実施している団体等からの情報をこまめに収集し、市民や文化活動団体へ情報を効果的に提供していく。
- 文化庁（①大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業 ②A F F〔ARTS for the future!〕 ③子供文化芸術活動支援事業〔劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験〕 ④子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業）、日本芸術文化振興会（⑤芸術文化振興基金）、自治総合センター（宝くじの社会貢献広報事業〔コミュニティ助成事業〕）、西京教育文化振興財団、渡辺翁記念文化協会等の助成金情報を常に収集し、どの事業にどの助成金が活用できるのか資金調達を行う。

*2022年度時実績

文化庁①「トップアーティストによるヴィジュアルディ四季」公演を実施。

②「宇部市芸術祭」に活用し、新たな連携事業を実施。

③「宇部市制100周年子供鑑賞体験支援事業東京バレエ団『ドン・キホーテ』」公演において、子供無料招待を実施。

④「中学生への音楽の贈り物『西川悟平ピアノリサイタル』」

⇒文化施設活用型として宇部市立桃山中学校が実施。なお、コロナ禍のため宇部市立黒石中学校・常盤中学校、宇部フロンティア大学附属中学校は中止となった。

日本芸術文化振興会⑤「宇部市制施行100周年記念事業『市民ミュージカル』」

⇒コロナ禍のため、芸術文化振興基金は取下げ、市委託事業として代替事業を実施予定。

5 施設管理運営事業

●維持管理業務

①【重要文化財・記念会館の保存と活用】

国指定重要文化財である記念会館は、一部改正された文化財保護法から、適切な保存と効果的な活用を念頭に置いた管理運営を行う。また宇部市文化振興ビジョン（第三次）の「文化財の保存・活用」の方向性を念頭におき、市と連携しながらシビックプライドの醸成に取り組む。

②【安全・安心な適切な管理】

危機管理体制の充実や安全衛生活動の促進、利用者への案内、警備員による巡回等により、利用者が安全な環境の中で安心し、快適に施設を利用できるよう努める。また、館内の各所に手指消毒液の設置の他、手すりやドアノブ等の接触箇所の定期的な消毒、ホール客席や研修室の机・イスの抗ウイルスコーティング等を行うとともに、利用者・来館者への感染予防啓発を行うなど、継続した感染症対策の徹底を行う。

③【利用者への適切な使用法のご案内】

破損などが生じた場合、原状回復ができない部分がある記念会館は、その点を利用者の方々にもご理解いただき、机・椅子等を動かす時には引きずらないなど、適切な使用法をご案内し、保存に努める。

④【職員の安全衛生・危機管理意識の徹底】

経験豊かな人材を配置し、文化施設としての機能を十分果たせる管理業務を行う。

⑤【効率的で経済的な維持管理と適切な保守点検の実施】

効率的で経済的な維持管理に努め、管理経費の節減を図る。施設の老朽化に伴い、今後益々適切な維持管理が必要となるため、定期的な保守点検だけでなく、職員による日常点検を実施し、計画的な予防保全に努める。

⑥【環境への配慮】

節電、節水、省エネルギー等に努めるとともに、廃棄物発生を可能な限り抑制し、環境負荷に配慮する。

⑦【設置者や地域社会との連携】

市（設置者）との連携を密にし、施設の現状や課題など必要な情報を共有するため、適切な報告や資料提出を行う。地域社会や文化団体などと連携し社会的責務を果たす。

⑧【設備・備品の適切な管理】

施設や備品の使用及び保管は、市の基準に準じた備品台帳により適正に行う。なお、備品の修理・交換が必要な場合はその都度、市（設置者）と協議を行う。

●運營業務

①【公正で公平な利用の確保と安全で快適な環境づくり】

利用者が安全で安心して利用できるよう、適切な運營業務を行う。施設の設置目的との整合性を図りながら、市民の平等な利用の確保に努める。

②【適正で平等なサービス水準の向上】

主催者向けの wi-fi や配信用インターネット回線の導入等、利用者の需要に応じたサービスの維持、向上を目指す。外部委託業者への複数年契約の導入、記念会館と文化会館の施設協働契約等を行うことによりコスト削減を図る。また職員の経費削減の取組はもとより、利用者の方々にも冷暖房温度の設定、水の節約等省エネルギーや環境への配慮と協力をお願いする。

③【利用促進に努める運営と情報発信】

様々な媒体による広報活動や幅広い営業活動を行い、施設の利用促進を図るとともに、利用者や地域住民へ情報発信をおこなう。プレイガイドとして様々なコンサートやイベントのチケットを取り扱い、文化や地域の情報を提供する。

④【安定的収入の確保】

施設利用料・付帯設備使用料の安定的な確保に向けて、宇部市内のみではなく県内における営業活動を行う。

⑤【市民参画による運営】

当財団設立当初より導入している財団市民サポーターは、財団において自主文化事業を実施するにおいて、なくてはならない支援者となっているが、感染症の流行に伴い参画する機会を創出する事が困難な状況になっている。感染症が終息したのちに、以前より実施していた「サポーターミーティング」や、広く披見を賜りながら自主文化事業を選定していく「自主文化事業企画検討会議」を再開する。

⑥【職員の実績を活かしたアドバイスと技術支援】

会館利用者の方や、文化活動者などをサポートするために、職員の専門性を活かした施設利用に対する適切なアドバイスを積極的に行う。また、コロナ禍において急増したインターネットを利用した行事において、技術的なサポートを引き続き行う。

⑦【法令遵守（コンプライアンス）を徹底した管理運営】

施設管理に関する消防法等の諸法令や個人情報の適切な管理、労働基準法などの職員の労働環境の整備に関する法令など、全ての法令等を遵守し、コンプライアンスを徹底した運營業務を行う。

⑧【利用者の声を活かした運営】

記念会館・文化会館に来られるすべてのお客様に対し、全職員がサービス業であることを念頭に置き接客をする。利用者の立場に立ち、何を望んでいるかを的確に把握し、快適に利用いただけるよう迅速かつ柔軟な対応をし、お客様の声を反映させた管理運営に努める。宇部市からのモニタリング調査の結果を真摯に受け止め、利用者の立場に立った公平・平等なサービスに努める。

●【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】*感染症の流行状況をみて実施

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	通年随時	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」 ①幼稚園・保育園・小学校・中学校 単位にて実施 【継続事業】 ②親子・家族向け 【継続事業】 ③心も体も健康になろう【継続事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。また、健康体操やけん玉大会、記念会館にまつわる謎解きゲーム等を併せて行う事で、幅広い年齢層の興味を持って貰える様にする。</p> <p>*2021 年度開催状況 6/23 (水) 「スポーツうべたん 渡辺翁記念会館 見学ツアー&伸び伸びストレッチ」 7/28 (水) ~30 (金) 「市バスミステリーツアー」 9/29 (水) 「記念会館見学ツアー& コミュニケーションワークショップ」 11/29 (月) 「スポーツうべたん宇部の歴史探訪！ 渡辺翁記念会館見学&松巖園ヨガ」 2022/2/26 (土) 27 (日) 「渡辺翁記念会館の秘密 ～リアル謎解きゲーム～」</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。 【ターゲット】 ①市内幼稚園・保育園・小学校・中学生 ※学校・園単位にて受入・実施 ②小学生などの親子・家族 ③高齢者・各種施設入居者等</p>	記念会館及びロビー	12

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
2	8月 ほか	<p>◆体験型事業 「ぶちええ響き！貸し切り記念会館」 【名称変更・継続事業】 2018年度まではグランドピアノの「スタインウェイを弾こう！」として実施。 より市民のニーズに対応するため、ピアノだけでなく、得意な楽器演奏、ダンスの披露などに、貸切ることが通常難しい記念会館のステージでハレの舞台を体験していただく。 *記念会館の空き状況をみて年に数回実施。 *2021年度は感染症の影響を鑑みて開催を断念。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】ホールの空間を、自分の特技（ピアノ、楽器演奏、ダンス等）で満喫することにより、舞台に立つことの満足感を味わい、その後の文化活動へとつながっていく事業。 【ターゲット】 市民全般 *使用ピアノはヤマハグランドピアノ</p>	記念 会館	36
3		<p>《渡辺翁記念会館活用誘致事業》 【継続事業】 ロビーや記念会館を利用して実施する事業を誘致し、参加者に気軽に足を運んでいただけるように実施する。 *2021年度開催状況 5/23（日） 「こすおん@渡辺翁記念会館 （コスプレ撮影会）」 7/13（火） 「仁詩バンドネオントリオコンサート ～タンゴに酔いませよ♪夏の宵～」 10/2（土） 「宇部ハーモニカコンサート in 記念会館2階ロビー」</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】文化の鑑賞機会の少ない層には会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性</p>	記念 会館 及び ロビー	50

6 その他事業

- 市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IOTを活用した記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上に努める。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	記念会館・文化会館 ICT化関連事業 【継続事業】	2020年度に導入した、チケット販売管理システムや館内wi-fi、webブラウザ上で の会場利用申請システムを引き続き運用し、 利用者のニーズに沿ったサービスを提供していく。	記念 会館 ・ 文化 会館	850